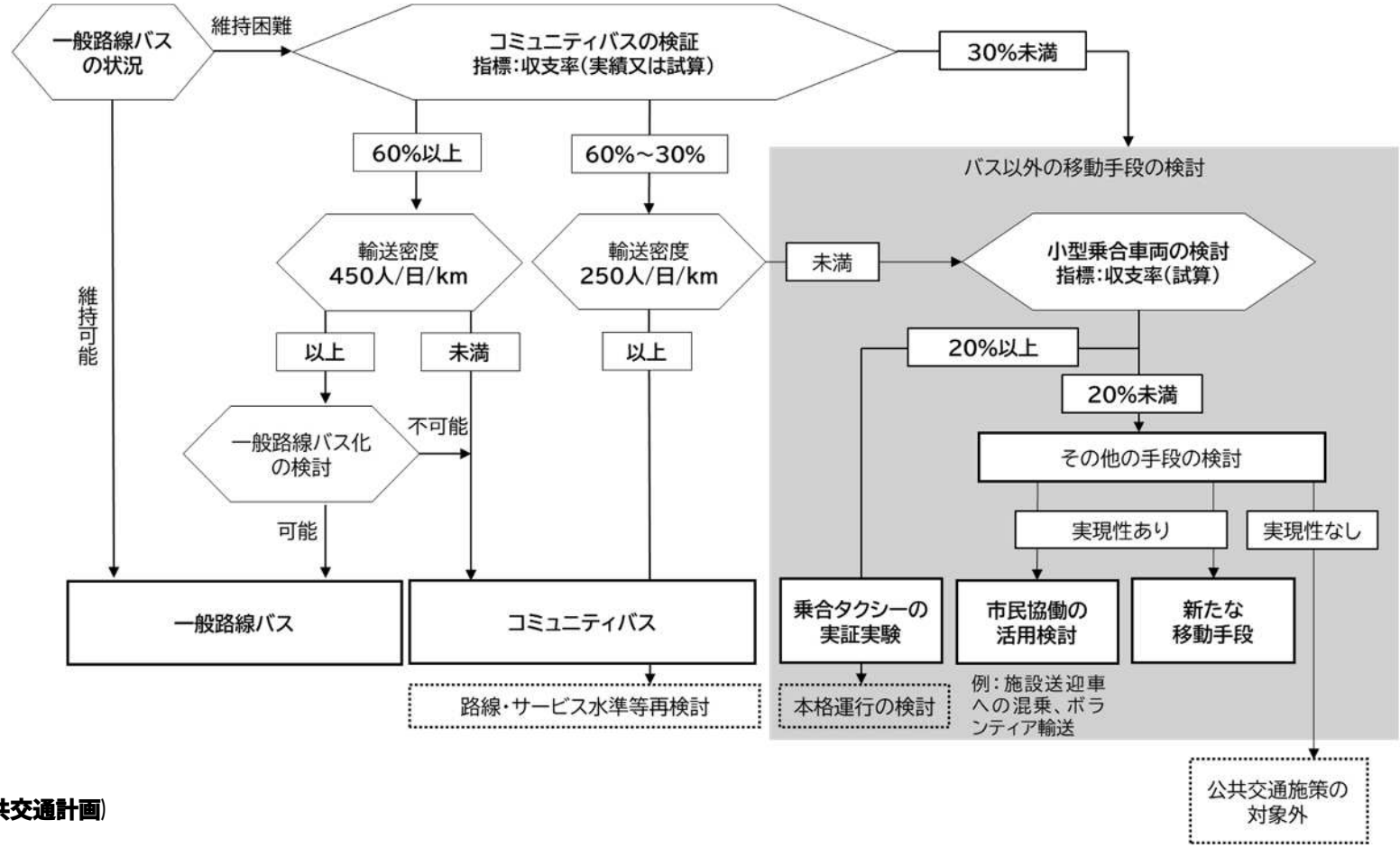
移動手段転換と運賃設定の考え方

資料2

1. 移動手段の転換の考え方

まちづくりや道路の整備状況に応じた利便性の高い公共交通を目指す一方、運転手数の減少見込みなどを考慮すると、今後も地域公共交通ネットワークの再編を検討していく必要があります。
このため、収支率や利用需要分析で用いた輸送密度を指標とし、移動手段の転換を検討していくためのフロー図を作成しました。

移動手段転換のフローチャート



他事業の例(地域公共交通計画)

事業11 多様な輸送資源の活用検討　重点事業

地区内

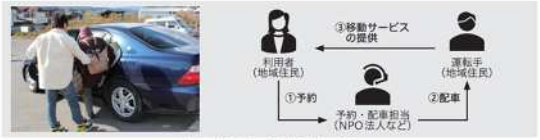
■内　容：　日常生活圏内の公共交通の利便性や交通弱者の移動に課題がある地域については、市内で提供されている施設送迎バスや福祉有償運送、シェアサイクルなど、多様な輸送資源を活用した新たな移動手段を検討します。
　なお、地域公共交通ネットワークの再編における地区内交通の在り方を踏まえて検討します。
■目　標：1－②　2－①　2－②　3－②　3－③　4－①
■対　象：既存公共交通以外の輸送サービス
■実施主体：府中市

福祉有償運送
(出典：府中市社会福祉協議会ホームページ)

事業16 移動手段の検討における市民協働の促進　重点事業

地区内

■内　容：　買物、通院、市民活動などを行うときに、きめ細かい交通へのニーズが高い地区内において、コミュニティバスなどでは当該ニーズに対応できない場合は、ボランティア輸送など市民協働の視点を取り入れた移動手段を検討します。
　なお、地域公共交通ネットワークの再編における地区内交通手段の在り方を踏まえて検討します。
■目　標：2－①　2－②　3－②　4－①　6－①
■対　象：―
■実施主体：府中市、市民ほか



図：ボランティア輸送のイメージ

事業17 MaaS、自動運転、新たな移動手段等に関する調査研究　重点事業

全域

■内　容：　全国的に、デジタル技術や新たな技術を活用した公共交通の利便性向上や運行効率化を図る取組が推進されていることを踏まえ、本市の地域課題・交通課題の解決に資するMaaS、自動運転、デマンド交通、グリーンスローモビリティ等の導入について調査研究を進めます。
　また、他施策を進める場合は、ICTの活用や次世代モビリティなどの新たな移動手段の実証実験などを積極的に進めていきます。
■目　標：1－②　2－①　2－②　4－①　5－②　5－③　6－②
■対　象：―
■実施主体：府中市、交通事業者

自動運転の実証運行（京王バス㈱提供）

2. 運賃設定の考え方
再編後のコミュニティバスの運賃設定の考え方と、再編案の収支予測、今後の運賃決定までのスケジュールを整理しました。

再編案の運行経費の見込み

再編後のちゅうバス路線を、現在の運行経費の計算式で算出した結果は、約4億200万円です。このうち、コミュニティバス運行経費は、約3億4700万円で、令和7年度予算要望額の約3億9000万円と比較して、年間約4300万円の運行経費の減少が見込めます。一方、コミュニティワゴンが年間約5400万円の運行経費が必要であることから、合計すると事業全体で約1130万円の増額が見込まれます。

運行経費（現状・再編案比較）

	現状（R7要望）	再編案	比較	増減	根拠
コミュニティバス運行経費	\ 390,130,264	\ 347,467,139	\ -42,663,125	-10.9%	コミュニティバス運行協定書等に基づく積算
コミュニティワゴン運行経費	\ -	\ 54,000,000	\ 54,000,000	-	経費積上、他市事例等を踏まえ 約1,800万円/台/年
合計運行経費	\ 390,130,264	\ 401,467,139	\ 11,336,875	2.9%	

経費の経年比較

概ね現在の路線となった平成29年度以降の運行経費等を比較したところ、令和7年度予算の運行経費の要望額は、平成29年度の運行経費の実績に対し、19．3%の増加となっています。主な要因は運転手不足に対する対策として、待遇改善による運転手等の人件費の増加や物価高騰の影響によるもので、今後も増加が見込まれます。

区分／年度	令和7年度予算	令和6年度予算	令和5年度決算	令和4年度決算	令和3年度決算	令和2年度決算	令和元年度決算	平成30年度決算	平成29年度決算
補助金	\199,609,000	\179,210,000	\172,622,000	\175,272,000	\181,703,000	\194,461,000	\138,725,000	\144,451,000	\131,368,000
収支率	49%	50%	52.0%	50.5%	47.1%	40.8%	58.6%	57.9%	59.8%
経費	\390,131,264	\358,543,403	\359,612,362	\354,299,709	\343,734,758	\328,582,128	\334,793,123	\342,797,596	\327,090,722
収入	\190,521,522	\179,332,865	\186,989,398	\179,027,265	\162,031,154	\134,120,166	\196,067,796	\198,346,156	\195,721,975
経費対平成29年度増減額	\63,040,542	\31,452,681	\32,521,640	\27,208,987	\16,644,036	\1,491,406	\7,702,401	\15,706,874	\0
経費対平成29年度増加率	19.3%	9.6%	9.9%	8.3%	5.1%	0.5%	2.4%	4.8%	0.0%
人口一人当たり負担額	\768	\689	\663	\674	\698	\747	\533	\555	\507
備考	人口26万人で試算		-	-	-	-	-	-	-

再編案の収入予測

再編後のちゅうバス路線を、現在の運賃100円で運行した場合の収入額（税抜）の見込みは、年間約1億9500万円です。令和7年度運賃収入の見込みは、約1億9000万円（前頁参照）であることから、運賃収入の大幅な増加は見込めません。

■利用者推計結果、輸送密度試算結果

再編路線名		起終点		利用者数計（逸走なし）	逸走率				利用者数推計（逸走考慮）	年間利用者数（逸走考慮）	年間概算運賃収入（税込み）	年間概算運賃収入（税抜き）	輸送密度、区間通過人員	
		起点	終点	R5平休計	運行頻度増減	間隔(案)	運賃増減	運賃(案)	R5平休計	R5平休計	R5	R5	輸送密度 R5	最大通過人員 R5
				人/日		分		円	人/日	千人/年	千円/年	千円/年	人/日/km	人/便
現状	多磨町ルート	府中駅	多磨町	951.2	1.000	30	1.000	100	951.2	348.1	35,033.1	**31,848.3**	403.2	11.7
再編後	多磨町ルート	府中駅	多磨町	799.4	1.000	30	1.000	100	799.4	292.6	29,444.2	**26,767.4**	338.9	9.8
現状	よつや苑西ルート	府中駅	よつや苑西	1,031.1	1.000	30	1.000	100	1,031.1	377.4	37,977.2	**34,524.7**	287.4	10.4
再編後	南町ルート	府中駅	中河原駅	729.4	1.000	30	1.000	100	729.4	267.0	26,864.6	**24,422.4**	413.5	10.1
	四谷循環	中河原駅	中河原駅	933.1	1.000	30	1.000	100	933.1	341.5	34,367.2	**31,242.9**	490.1	22.7
	よつや苑西循環	中河原駅	中河原駅	256.0	0.781	45	1.000	100	199.9	73.2	7,362.1	**6,692.8**	114.9	5.0
現状	四谷六丁目ルート	中河原駅	中河原駅	402.8	1.000	30	1.000	100	402.8	147.4	14,837.0	**13,488.2**	191.6	9.3
現状	押立町ルート	府中駅	武蔵野台駅南口	939.8	1.000	30	1.000	100	939.8	344.0	34,613.1	**31,466.5**	368.0	12.0
再編後	押立町ルート	府中駅	武蔵野台駅南口	939.8	1.000	30	1.000	100	939.8	344.0	34,613.1	**31,466.5**	368.0	12.0
現状	朝日町ルート	府中駅	多磨駅	886.3	1.000	30	1.000	100	886.3	324.4	32,644.1	**29,676.4**	371.8	10.6
再編後	朝日町ルート	府中駅	多磨駅	886.3	0.781	45	1.000	100	692.0	253.3	25,487.4	**23,170.4**	290.3	8.3
現状	北山町循環	府中駅	府中駅	589.8	1.000	30	1.000	100	589.8	215.9	21,723.2	**19,748.4**	264.8	10.5
再編後	本宿町循環	府中駅	本宿小学校	359.8	1.000	30	1.000	100	359.8	131.7	13,252.3	**12,047.5**	161.6	6.4
	新府中街道ルート	中河原駅	多摩総合医療セ	165.0	0.562	90	1.000	100	92.7	33.9	3,412.5	**3,102.3**	41.6	1.7
	武蔵台ルート	西府駅	西府駅	99.4	0.671	60	1.000	100	66.7	24.4	2,457.6	**2,234.2**	30.0	1.2
現状	是政循環	府中駅	府中駅	777.6	1.000	30	1.000	100	777.6	284.6	28,641.0	**26,037.2**	430.9	13.9
再編後	是政循環	府中駅	府中駅	777.6	1.000	30	1.000	100	777.6	284.6	28,641.0	**26,037.2**	430.9	13.9
	郷土の森ルート	府中駅	分倍河原駅	327.6	0.671	60	1.000	100	219.8	80.5	8,097.3	**7,361.1**	121.8	3.9
現状	合計	－	－	5,578.7	－	－	－	－	5,578.7	2,041.8	205,468.7	**186,789.7**	－	－
再編後	合計	－	－	6,273.5	－	－	－	－	5,810.3	2,126.6	213,999.2	**194,544.7**	－	－

注1）ちゅうバスデータによる推計値は、2021年6月～11月乗車実績、「ちゅうバスの利用状況などに関するアンケート調査(R3.7)」によるバス停間ODデータにより算定。
R5は利用者数実績の変化率(R5/R3)を乗じて推計
2）運行頻度増減による逸走率は、交通学研究(2021年)「バス利用に影響を与える要因の検討」日本交通学会より作成
3）運賃増減による逸走率は、「さいたま市地域公共交通協議会（令和5年8月29日）コミュニティバス運賃について」より作成
4）輸送密度は、類似ちゅうバスの対日利用者数比（＝輸送密度/日利用者数）を用いて算定。
5）バス停間平均通過人員・最大通過人員は、1便あたりのバス停間通過人員であり、類似ちゅうバスの対輸送密度比（＝バス停間平均・最大通過人員/輸送密度）を用いて算定。

再編案の収支比較

再編後のちゅうバス路線の運行経費の合計約4億200万円から、運賃100円の場合の収入見込額の約1億9500万円を差し引いた後の市が負担する補助金額は、約2億700万円です。
これを平成29年度の補助金額と比較すると、約58%の増額となっています。なお、再編案の収支率は48%であり、補助金の割合も増大しています。

運賃100円の場合の補助金額等の見込み

	運行経費	税抜収入	補助金	収支率	補助金平成29年度比
再編後	\ 401,467,139	\ 194,544,732	\ 206,922,000	48%	158%
令和7年度要望	\ 390,131,264	\ 190,521,522	\ 199,609,000	49%	152%
令和5年度実績	\ 359,612,362	\ 186,989,398	\ 172,622,000	52%	131%
平成29年度実績	\ 327,090,722	\ 195,721,975	\ 131,368,000	60%	100%

一般路線バス運賃の状況

市内で運行する一般路線バス事業の運賃は、直近の運賃改定で概ね10円から40円程度の値上げが行われています。なお、ちゅうバスが運行した平成15年度の一般路線バス初乗り運賃170円と比べると、京王バスが200円、小田急バスが240円となっており、30円から70円で、平均50円程度の値上げとなっています。

主な区間の新運賃（普通旅客運賃・大人）

9月16日以降の主な区間の新運賃となります。ご利用区間の新しい運賃につきましては、2023年8月10日（木）以降、京王バスホームページの「運賃・距離証明はこちら」から乗車区間を入力し、**日付を9月16日以降に設定**し、ご確認ください。

区間	現行運賃		改定後運賃	区間	現行運賃		改定後運賃
	現金	IC	現金・IC同額		現金	IC	現金・IC同額
調布駅北口～試験場正門	260	252	280	聖蹟桜ヶ丘駅～帝京大学入口	210	210	230
府中駅～国分寺駅南口	220	220	240	聖蹟桜ヶ丘駅～帝京大学構内	240	231	250
府中駅～武蔵小金井駅南口	250	242	270	高幡不動駅～帝京大学構内	190	189	220
武蔵小金井駅南口～浅間町	200	199	220	高幡不動駅～百草センター	180	178	200
武蔵小金井駅南口～試験場正門	220	220	230	多摩センター駅～帝京大学構内	220	220	250
武蔵小金井駅北口～中大循環	180	178	200	京王堀之内駅～東京薬科大学	180	178	200
武蔵小金井駅北口～学芸小前	180	178	200	南大沢駅～三徳プラザ前	180	178	200
武蔵小金井駅北口～学芸大正門	180	178	200	日野駅～日野自動車前	180	178	200
西国分寺駅～総合医療センター	180	178	200	日野駅～石川町東～豊田駅北口	190	189	230
聖蹟桜ヶ丘駅～消防署前～永山駅	200	199	220	八王子駅北口～日野自動車前	280	273	310
聖蹟桜ヶ丘駅～多摩市役所～多摩センター駅	270	263	300	八王子みなみ野駅～グリーンヒル寺田	250	242	270
聖蹟桜ヶ丘駅～由木折返場	330	326	360	高尾駅南口～医療センター	180	178	200

京王バスホームページより抜粋

●改定日　2024年6月1日（土）

※ 小児関連の一部運賃は4月1日（月）に実施済みです。
定期運賃は7月1日（月）に実施します。

●内容　**主な改定ポイント**

1. 均一運賃地区（東京都区内・川崎市内・横浜市内）普通運賃改定
   大人　現行 220円 → **改定 240円**
   ※東京都区内：特別区・武蔵野市・三鷹市・調布市・狛江市および府中市の一部
   ※川崎市内：川崎市および東京都稲城市の一部
2. 定期運賃改定
3. 小田急電鉄が掲げる子育て応援ポリシーへの対応
   - 小児のIC運賃低廉化「こどもIC50円」の通年実施
   - 通勤小児定期券と通学小児定期券の統合と購入条件の緩和
   - 通学大人定期運賃の値上率抑制

小田急バスホームページより抜粋

運賃設定の考え方

再編後のちゅうバス路線の補助金額の増加、一般路線バスの運賃の値上げ、経費の上昇の見込みを踏まえると、再編後の運賃設定は、現在の100円から1.5倍程度の値上げが必要です。
一方で、運賃の値上げによる逸走や、一般路線バスの運賃においては、定期券などの定期運賃、高齢者へのシルバーパスによる割引、障害者運賃、小児運賃などの各種割引制度があることから、協議会や運行事業者と協議の上、運賃と割引制度を検討する必要があります。
新たに導入するワゴンタイプの車両に関しても、定時定路線の運行とすることから、バスタイプとワゴンタイプは、いずれも同一の運賃とする方向で検討をします。なお、ワゴンタイプについては、車両サイズや運行地域を考慮すると、タクシー初乗り運賃との価格差についても考慮する必要があります。

補助金額の推移

約1.5倍

平成29年度
補助金額
1億3100万円

再編後
補助金額
2億700万円
＋
経費上昇見込

路線バスの値上げ

平均50円

路線バス
初乗り170円
から値上げ

ちゅうバス
運賃100円

逸走率

運賃倍率	利用者数倍率	逸走率
1.00	1.00	-
1.05	0.949	-5.1%
1.10	0.934	-6.6%
1.15	0.919	-8.1%
1.20	0.905	-9.5%
1.25	0.892	-10.8%
1.30	0.880	-12.0%
1.35	0.868	-13.2%
1.40	0.857	-14.3%
1.45	0.846	-15.4%
1.50	0.836	-16.4%
1.55	0.826	-17.4%
1.60	0.817	-18.3%
1.65	0.808	-19.2%
1.70	0.800	-20.0%
1.75	0.791	-20.9%
1.80	0.784	-21.6%
1.85	0.776	-22.4%
1.90	0.769	-23.1%
1.95	0.762	-23.8%
2.00	0.755	-24.5%

※コミュニティバスの運賃改定をした自治体（さいたま市ほか）の実績を元に算出

割引の考え方

路線バス
・小児運賃
・障害者割引
・シルバーパス

ちゅうバス
・一律定額で割引なし
・路線バス並みで割引ありなど

DXにより経費が上昇しない方法なども検討

タクシー料金との比較

価格とサービス水準を比較し
不当な料金とならないよう設定

タクシー
初乗り500円

ちゅうバス
（ワゴンタイプ）

運賃設定に関する市民意見

意見交換会

多くの参加者が100円維持を望んでいましたが、値上げを許容する方もいました。また、シルバーパスの利用を求める方が多い状況でした。

アンケート

値上げはやむを得ないが67%で、そのうち公共交通の維持にためには必要であると考える方が74%となっており、値上げに一定の理解を得ている。

運賃に関する今後のスケジュール

地域公共交通ネットワーク再編

令和7年1月・2月 オープンハウス
令和7年3月 計画案の答申
令和7年7月 計画の策定
令和8年4月～ 再編開始

コミュニティバス運賃

令和7年2月 事業者個別協議
令和7年3月 運賃協議会要領決定
令和7年4月～ 運賃協議会の開催
令和8年4月～ 運賃改定